

# 寺報

龍正寺

日なた 128号

謹賀新年

平成三十一年己亥

八白土星元旦

日延



<平成31年 1月>

宝龍会  
護持会

## 〈経職一言〉

明けましてお目出とう御座ります。

平成31己亥八白土星年を迎えました。

### 《日蓮大聖人御遺文「上野殿御返事」》

「<sup>ととと</sup>抑 今の時法華經を信ずる人あり。或は火のごとく信ずる人もあり、或は氷のごとく信ずる人もあり。聽聞する時は、もへたつばかりをもへども、とほざかりぬれば、すつる心あり。氷のごとくと申は、いっもたいせず信心する也。此はいかなる時もつぬはたいせずとはせ給は、氷のごとく信ぜさせ給へる歟。たうとし、たうとし。」

さて今時、法華經を信心する人々のなかには、火のような信心をする人と氷のように信心する人がある。

法華經を聴いた時は、燃え立つ程に熱するが少し遠くくと段々冷めて ついには法華經を捨ててしまふことになる。氷の信心とういのは、いっも断えず心にかけて怠れないのをいうのである。貴殿がいっもおこたらず訪はれるのは氷のようないっも

かわらぬ 信心を持っていらっしゃるからである。  
この様に説かれておられます。

信心もできず、日々の生活の中でも熱しやすく、  
冷めやすくではなく、こっこっ 持続する事が大切  
です。皆様様の御多幸をお祈り申し上げます。

本年も、ホームページ、寺報日当たをよろしく お願い  
いたします。

合 掌

# — 新年を迎えて —

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ致します。

娘は今年の夏で部活を引退し、秋からアルバイトを始めました。慣れない環境でも頑張る姿に少し頼もしさを感じています。朝起きると手紙が置いてありました。お父さんには、大好きなお菓子ときな粉が、私にはアーモンドのはちみつ漬けが置かれていました。初給料で感謝の気持ち伝えてくれたのです。でも、どうしてきな粉？ アーモンドのはちみつ漬け？と疑問に思い聞いてみると、食後にきな粉を食べると油の吸収がおさえられるとのこと…。少し太りきみの主人へのメッセージが込められていました。そして、私のはと言うと、その少し前、肩こりが原因で頭痛を起し、ダウンしてしまつた日がありました。アーモンドのはちみつ漬けは肩こりに交かるとテレビでやっていたのを思い出し、バ配してくれてるんだなあと思うと、嬉しくてイェ方がありませんでした。

少し早めに進学先が決まり、時間も余、てい

るように思える娘…。定期テストの結果を元に先生との三者懇談がありました。前期中間、期末と少し下がり、後期中間(今回)は大幅にダウンの時間帯はあったにはおなじのに…と思い、先生からの言葉を待っていました。案の定、どんどん下がった事を指摘されました。そして、「点数だけの事ではなく、自分の中に努力する心、感謝の心」がなくなっていないか? 生活の中でまあいいかで済ませてしまっている事は多くないか? 残りの学校生活は30日程度しかないので、もう一度初心に戻って良い年を迎えて下さい。」と言われました。点数の事だけでなく、もっと元張りなさい!!と言われる先生が、多量の中、心に染みる言葉をかけられて、娘も、俯に落ちていた様子でした。

大人になると毎日の変化も少なく同じような内容をこなしていく生活が多くなりがちですが、私もいつまでも向上心を忘れず、家族のため、自分のために精進していきたいと思えます。

# 一 災い転じて福となす 一

明けましておめでとうございます。

今年の手支は亥年です。猪突猛進などと言われる様に亥のの特徴は勇氣と冒険。また無病息災の象徴とも言われるそうです。

今年の5月には新年号になります。そして東京オリンピック、大阪万博など…日本国の大事な行事の準備をしていく年でもあります。それはこれから未来の為に前進して行く事でもあるのだと思います。

昨年、一年間を漢字一文字で表すと「災」(わざわい)でした。今年はこの「災」を思考を変える事で「災い転じて福となす」では、その「災」を「福」となる為には自分自身が「災い」と思われる出来事をどのように捉えるかで「福」に変換できます。捉え方は一つではありません。頑固になっている心が新たな捉え方を受け入れようとしません。しかし法華経・御題目はその頑固にならないうる心に妙法を与えて下さいます。そして「災」を「福」とするお教えに気づく事が出来ます。

そして、前向きに物事を考え、冷静に判断が出来る。  
心にゆとりも持つ事が出来ます。それは心身共に新たな  
エネルギーになります。そのエネルギーこそ“福”になる  
力です。

その力を一人だけのものとするのではなく、家族や皆様と  
分かち合えることがステキですね。

この一年間はどのような事も喜びに変えていく  
「災い転じて福となす」そのような日々を過ごしたい  
と思います。

今年も「寺報」日なたをよろしくお願ひ  
致します。＊誰でも参加できます。一緒に幸せ  
探しを致しましょう。

## お墓参り

新年あけましておめでとうございます。  
昨年末には、雪が降り、寒気が一気に押し寄せてきましたね。体調はいかがでしょう。  
体を温め、免疫カUPで今年、元気に過ごして下さい。

昨年、私は弟と2人で山梨県へとお墓参りに行きました。本当は、春先に行く予定でしたが、日程が合わずそのままになっていました。

私の中では、今年中には行きたいと思っていたものの行動には移せずにいました。

弟と11日に会った時、会話の中で「お墓参りに行きたいと思っている」と話したところ「俺も行きたいと思っている」と言われ、とんとん拍子に日程も決まり当日を迎えました。

私達の家でのお墓参りは、必ず武田神社、お墓参り  
駒山久遠寺に行きます。

道中では、昔話をしたり、今後の話をしたりと実りある話がありました。

まず、武田神社でお参り。今回は、神社の方が祝詞をあげている時にお参りできたので、びっくりしたのとうれしかった気持ちになりました。

次は久遠寺へ参拝に行きました。

昼食時であったので、昼ご飯の場所を考えていた時にある場所見た時、ここいいなあと思っていたら、弟もそのタイミングで「お参りの後、ここで食べたい」と言うタイミングがあまりにも一緒にびっくりしていました。



参拝する前、水で手を清めている時に弟は私に対して左腕をあげ「本堂はあそこだよ」と言った瞬間に「あれ、あれ？」と言いはじめました。

詳しく聞くと、それまで左腕が「た」るく、上がりにくかったことでした。腕がスムーズにあがったことで「弟が、ご先祖様へが」ついてきたのかもしれないねと話しました。

最後は、お墓参りに行きました。

お墓参りでは、弟が草刈、お墓拭きをしてくれました。私がお教文を読み、お墓参り終了してきました。

お墓参りするたびに思い出す光景があります。

はじめてお墓参りした時は8月の暑い日でした。

お墓参り途中 墓地の周りには天気なのに雨がパラパラと降ったのです。その時は、ご先祖様への涙だねと言って話をしていたことです。

この思い出があるので、お墓参りした後は、すっきりした気持ちになり帰路につくことができます。

道中の運転は弟がすべてしてくれました。

疲れていたと思いますが、疲れたと一言も言わずに頑張ってくれた弟に感謝です。無事故で帰ってこれ

とてもいいお墓りができい様、ご先祖様に感謝です。

今年一年、いろんな出来事が起るとは思いますが感謝できる一年でありたいと思います。

## < 1月の行事予定 >

- 1月1日(火) 5:00~ 元旦祝禱会  
13日(日) 10:00~ 初宗祖日蓮大聖人報恩会  
18日(金) 10:00~ 初鬼子母尊神  
七面大明神 ) 祈禱会  
初大古久尊天祈願会

## < 1月住職予定 >

寺院に於いて法務

## < 1月の予定 >

- 1月3日 13:00~ 片付け  
6日(日) 13:00~ おもち下げ"  
例祭準備  
7日(月) 各々の時間で" 清掃. 準備  
↓ ↓  
12日(土)  
13日(日) 法要後 片付け. 準備  
14日(月) 各々の時間で" 清掃. 準備  
↓ ↓  
17日(木)